

## 平和大会の成功と「人間の鎖」で新基地ノ一!!を示そう 沖縄新基地建設でも情報隠蔽

23日夜、名護市港区公民館で辺野古への米軍新基地建設に関連してジュゴンの保護をアメリカ政府に求めた訴訟の報告会が開かれ、アメリカ側が214mの岸壁や陸地での環境アセスを求めていたことなどが米公文書をもとに明らかにされました。これらは、環境影響評価方法書にふれられていないもので、掃海母艦を出してまで基地建設強行の姿勢を示した政府のデタラメぶりが改めて明らかになりました。

機能	日本政府の提案	アメリカの見直しコメント
埠頭	図には示されず	2001年の会議で214m岸壁が必要だと確認した。地図に示すべきだ。
環境	水域のみ環境アセスを行う	辺野古ダム区域やシュワブ陸上区域も言及すべき。環境に影響を及ぼすと米海兵隊が責任を負わされる。
戦闘機装弾場	滑走路北端に記載。安全带示さず。	どのような弾薬を運ぶか海兵隊は回答すべき。安全带の位置を地図に明示すべき。

大浦湾に新たな軍港をつくり、海兵隊の部隊や武器・弾薬輸送の機動力を高める危険があるとの指摘は、やんばる統一連などもこれまでも指摘してきました。214mの岸壁は、佐世保に配備されている強襲揚陸艦が接岸できるものです。戦闘機装弾場は、現在の普天間基地ではなく、嘉手納空軍基地に移動して装弾していました。これを海兵隊基地内でただちにできるようにすることになります。

新基地建設をめぐるのは、政府はこれまでも民間地上空の飛行、オスプレイ配備、空中給油機運用機能や緊急時使用機能をアメリカ側から要求されていることを隠していたことが明らかになっています。

---

## 沖縄の平和大会での交流をバネに 新テロ特措法廃案、憲法守る運動の前進を 単産、地方組織からおおいに参加しましょう 全労連副議長 柴田 真佐子

ことしの日本平和大会が開かれる沖縄でのたたかいは日本全国の人々を大きく励ましています。教科書検定意見の撤回と「集団自決」の記述の回復を求めて11万6000人の沖縄県民が参加した9月29日の県民大会は、政府・与党に大きな打撃を与え、検定結果の是正に迫り込んでいます。

60余年前の悲痛な体験とその後の苦しみ、つらい記憶は、靖国派による沖縄戦の歴史歪曲をぜったいに許すことはできない、子どもらに真実を伝えなければならないとの強い思いが圧倒的多数の県民を突き動かしました。主権者としての県民一人ひとりの明確な主張と行動が政府・権力者を動かし、情勢を切り開くことができることを示しました。沖縄の平和大会で、私たちは沖縄のたたかいに学び、交流し、大いに激励し合いたいと期待しています。

全労連は、憲法改悪を許さないために「戦後史をかけてたたかう」と大会で決意し、貧困の克服・格差是正のたたかいとともに、新テロ特措法案の廃案、米軍基地撤去、非核と平和の日本の実現のために、沖縄の平和大会での交流をバネに、さらに奮闘したいと思っています。大会には、とくに、各単産と地方組織から青年が大勢参加できるような手立てをとるよう全労連の各組合にお願いしたいと考えています。